

令和4年度 第3回 松戸市子ども・子育て会議 議事録

| | |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 令和5年2月16日(木) 18:30~20:00 |
| 2. 場 所 | Zoomによるオンライン開催 |
| 3. 出席者 | <p><委員> (50音順) 19名 明田委員、安達委員、阿部委員、石垣委員、石田委員、荻野委員、神谷委員、久川委員、小松委員、坂委員、坂野委員、鈴木委員、堤委員、寺田委員、久居委員、百田委員、文入委員、宮下委員、山田委員</p> <p><松戸市> 子ども部長、子ども政策課長、子どもの未来応援担当室長、子育て支援課長、児童給付担当室長、子どもわかもの課長、幼児教育課長、子ども家庭相談課長、母子保健担当室長、保育課長、指導監、入所入園担当室長、保育運営担当室長、学校財務課学校給食担当室長、学務課学校保健担当室長、事務局(子ども政策課)ほか</p> |
| 4. 傍聴者 | 4名 |
| 5. 次 第 | <p>議題</p> <p>(1) 保育の利用定員について</p> <p>(2) 第2期松戸市子ども・子育て支援事業計画 中間見直し(案)のパブリックコメント(意見募集)手続きの結果について</p> <p>報告</p> <p>(1) 給食費の第2子半額、第3子無償化について</p> <p>(2) GPS端末購入支援事業について</p> <p>(3) 市内運営法人による不適切な保育及び補助金等の不正受給について</p> |
| 6. 資 料 | <p>[資料1-1] 特定教育・保育施設の利用定員等について</p> <p>[資料1-2] 地域型保育事業の利用定員等について</p> <p>[資料2] 第2期松戸市子ども・子育て支援事業計画 中間見直し(案)パブリックコメント(意見募集)手続き実施結果[暫定版]</p> <p>[資料3] 令和4年度「松戸市第2子以降の学校給食費の無償化」について</p> <p>[資料4] 松戸市GPS端末購入支援事業</p> <p>[資料5] 市内運営法人の不適切な保育及び補助金等の不正受給について</p> |

1 開会及び会議の成立について

(事務局)

委員の半数以上が出席(21名中19名出席)。

「松戸市子ども・子育て会議条例」第6条第2項の規定により、会議の成立を報告。

2 子ども部長挨拶

3 傍聴者の受入れ及び議事録の作成・公開について

(事務局)

「松戸市情報公開条例第32条」の規定により、公開を原則として会議を開催し、傍聴者の受け入れを許可したい。本日の傍聴の申し出は4名。別室に設けたタブレット端末により会議を傍聴する。

また、当会議については議事録を作成の上、公開したい。議事録作成のため、Zoomによる録音・録画についても許可願いたい。

(坂野会長)

特段意義等ないので、公開を了承する。

4 議題

(1) 保育の利用定員について

資料1-1、1-2を用いて、担当課より説明を行った。

(寺田委員)

公立保育所3カ所の2歳児の受け入れが0になってしまうが、その受け皿はどうなるのか。

(保育課長)

小規模保育の入園率が現在94%であり、こちらで受け入れ可能と考えている。

(寺田委員)

公立保育所は、0～2歳児の受け入れの核になる施設だと思う。今後について教えていただきたい。

(保育課長)

公立保育所のうち3カ所は3～5歳児に特化するが、14カ所は従来通り受け入れる。未就園児の対応などの役割を果たしていくものと考えている。

(寺田委員)

幼稚園児は全体として減っているが、幼稚園としては引き続き3～5歳の園児を確保していきたい。

(保育課長)

小規模保育卒園後、40%近くが幼稚園に入園しているという現状もある。3～5歳

児は幼稚園と保育園が共存しながら育んでいくものと考えているので、今後ご協力
いただきたい。

(石田委員)

待機児童は解消されているが、今後子どもの数が減っていく中で、定員割れをする園
も出てくると思う。どのようにお考えか。

(保育課長)

松戸市の現状としては、この2月時点で施設入所率はちょうど100%くらい。ただ
今後の少子化の中で、保育所の多機能化や未就園児の一時預かりを充実することも考
えられる。保育士は、おやこDE広場やほっとる一む同様、保護者のニーズに寄り添え
る専門性を持っており、それを活かせるようしっかり対応していきたい。

(2) 第2期松戸市子ども・子育て支援事業計画 中間見直し(案)のパブリックコメント (意見募集)手続きの結果について

資料2を用いて、担当課より説明を行った。
意見は特になし。

5 報告

(1) 給食費の第2子半額、第3子無償化について

資料3を用いて、担当課より説明を行った。

(明田委員)

葛飾区と市川市は第1子から無償だったように思う。可能であれば、第1子についても
検討いただきたい。

(安達委員)

ひとり目のお子さんも対象になるといいと思った。

(石垣委員)

可能であれば第1子から無償化を検討いただきたいと思う。

(石田委員)

予算のこともあると思うが、第1子についても希望したい。

(荻野委員)

まわりの保護者はありがたいし助かると言っていた。

(神谷委員)

恩恵を受けられる保護者は喜んでいて、やはり今後第1子も対象にする努力をしていただきたい。

(久川委員)

給食を食べることがなかったり少なかったりする場合に、何か補助はあるのか。私の子どもは弁当を持参することが多く、それに対してはどうなるのか。

(小松委員)

皆さんと同意見。改善できるところは改善いただきたい。

(坂委員)

未納の方はどのくらいいるのか。

(鈴木委員)

私のまわりの反応としては、通知が届いて喜んでいたが2人目は半額なんだと（少し残念に）思ったということと、申請が必要な理由がわからないということがあった。2人目、3人目は市で把握できるのではないか。

(堤委員)

第1子の無償化が早く進むといいなと思っている。無償化の条件として、学校給食費の滞納の完納があるが、子どもの給食のことなので、滞納があっても申請ができるといい。

(寺田委員)

今回は令和5年1月分から3月分が無償化の対象とあるが、4月からもお願いしたい。

(久居委員)

第1子も支援があるといいと思うが、まずはこの取組はいいと思う。

(百田委員)

子育て支援の全容が見えない中で、このことだけ聞かれても困惑感がある。また、学校給食費の滞納のある方こそ、事情を聞きとり制度に結びつけるチャンスにしたほうがいいのではないかと思う。

(文入委員)

全員の無償化を目指していただきたいと思う。

(宮下委員)

学校給食費の無償化に取り組んだことは評価している。なかなか今までできなかったことに挑戦されたと思う。予算の都合で制限があったのだと思うが、すべての子どもに同じ対応ができるのが理想的だとは思う。

双子や三つ子についてはどのような対応になるのか。

(山田委員)

私も滞納の扱いが気になった。また今後どのくらい継続できるのかというのも気になっている。

(学校給食担当室長)

令和5年1月から千葉県が第3子の給食費補助を実施するにあたり、子育て家庭の実態や社会状況、近隣市の動向、本市の実情等に鑑み、第2子の半額・第3子の全額補助を実施することとした。第1子の無償化は、今後検討させていただきたい。

学校給食費を負担する世帯を対象としているため、食物アレルギー等により弁当を持参している子に対する支給は想定していないが、今後どのような対応ができるか検討していきたい。

学校給食費の滞納への配慮については、所得の低い世帯には就学援助制度があり、申請をして認定を受けた場合は全額免除の対象となる。それ以外で滞納が続いている世帯については、個別にご相談いただきたい。

申請が必要となる点については、第2子・第3子を扶養している世帯を教育委員会で確認することが難しいため、書類提出をお願いしている。

双子については、2人としてカウントする。

(寺田委員)

資料にある第1子が40歳の例の場合、同居などの条件があるのか。

(学校給食担当室長)

扶養していることが条件であり、同居でなくとも扶養していれば対象になる。

(山田委員)

外国籍の保護者は申請に手間取ると思うが、フォローはされているのか。申請が遅れた場合の対応はどうなるのか。

(学校給食担当室長)

外国籍の保護者の申請について、英語・中国語・ベトナム語の申請書はホームページに掲載している。学校にも外国語の通知文を出し、外国籍の世帯に渡すようにしており、声かけもお願いしている。

申請が遅れた場合、その都度申請をするか、学校給食担当室に直接問い合わせさせていただければ対応している。

(小松委員)

この制度は令和5年1月から3月までの3ヶ月分だけなのか。4月以降も再度申請をすることになるのか。

(学校給食担当室長)

4月からはまた新たに申請が必要になる。

(小松委員)

あまり間がないので、手続きもなるべく簡素化できるよう検討いただきたい。

(2) GPS端末購入支援事業について

資料4を用いて、担当課より説明を行った。

(山田委員)

スマートフォン等は対象外でGPS端末が対象になる点と、外国籍の方への配慮が気になった。こうしたよい制度を、たくさんの方が利用できるよう検討いただきたい。

(宮下委員)

子どもへのプライバシーへの配慮については、どのように考えているのか。

(学校保健担当室長)

小学生は保護者が所在を把握しなければいけない年齢と考えているが、保護者においては、GPSはあくまでも安全対策の補完的なものであることを理解していただきたい。家庭で保護者と子どもが十分に話し合っ、GPSの必要性や安全行動・危険回避行動、GPS所持のメリットを子どもと確認することで、GPSの利用を促していきたい。

また補助金申請の際に、子どもの安全確保のために使用する目的等の項目を明記したチェックリストに同意した上で申請するという仕組みにしている。

(文入委員)

こうした事業を、多くの方に行き渡らせていただきたい。きめ細かいPRをお願いしたい。

(百田委員)

チェックリスト等の仕組みを聞いて安心した。せっかくなので、私たち委員にチェックリストを共有するといいいのではないか。

学校に持参するときの注意について資料にあるが、子どもたちは放課後児童クラブにそのまま持ってくると考えられるので、学校に準じた取扱いにしていきたい。

(学校保健担当室長)

紛失等の責任は学校にはないという誓約書を、保護者には書いてもらうことになっている。今後、学校や放課後児童クラブに負担をかけないように、ルールを決めていきたい。

(寺田委員)

保護者はとても喜ぶと思う。来年度の1年生に対し、助成は継続するのか。

(学校保健担当室長)

詳細なことはまだ言えないが、事業は継続していきたい。

(堤委員)

児童の登下校や安全安心を守る、大変良い取組みだと思う。学校でも紛失のないようにしていきたい。

市川市では、全児童の登下校の時間が保護者に伝わるような取組みがあると聞いたことがある。そうした取組みもいいと思う。

(学校保健担当室長)

今回のGPSは登下校の見守りという目的もある。子どもの登下校の把握もできると思うので、活用いただきたい。

(鈴木委員)

今GPSを買う場合、本体と月額が別料金のものであれば、1年間の利用料が含まれた買いきりのものもある。特定の業者を優遇することにならないか。

スマートフォンは対象外ということだが、通話のできるGPSもある。購入した後で対象外と言われる懸念があるので、購入するものが対象となるか聞くことのできる仕組みがあるといい。

(学校保健担当室長)

月額の使用料は保護者に負担いただくことにしているが、色々な販売の仕方があると思う。初期費用を助成することを原則としているので、月額使用料が含まれている場合は、それも含めて助成することになる。

GPS端末も色々な機能があることは承知しているが、学校からはGPS端末の持ち込みを許可いただいており、それを補助対象としている。

(坂委員)

そもそも初期費用はいくらくらいかかるものなのか。生活保護を受けているような世帯が利用したい場合は、どのような支援があるのか。

(学校保健担当室長)

現在のGPS端末の初期費用の相場は、5,000円～10,000円、月額使用料は500円～700円が相場となっている。おおむね10,000円の助成で、初期費用をカバーできると考えている。

非課税世帯等に対しては、まだ事業が始まったばかりなので、今後市民からの意見をいただく中で考えていきたい。

(小松委員)

子どもたちの安全を担保するよい取組みだと思うので、活用していただければと思う。

(神谷委員)

子どもの放課後の安全確保ということでは、こうした制度をつくるのが第1歩だと思う。色々なメーカーの動きもあると思うが、それをひとつひとつつぶしていくのではなく、多くの子どもたちが無料で利用できる方向でこの制度が動いていくことを期待する。

(荻野委員)

いい制度だと思うので、広く市民に伝わるといい。

(石田委員)

いい制度だと思うが、気になるのは子どものプライバシーや人権。家庭での話し合いは重要視してほしいと思う。

(石垣委員)

いい制度だと思う。来年度の新生児にも早く行き渡ることを願う。

(安達委員)

私もいい制度だと思う。ただこれを使う子どもたちがどう思うかというところは気になっている。可能であれば、将来的には子どもの意見も聞いてみるといいと思う。

(学校保健担当室長)

子どもの考えがしっかり反映できる仕組みになるよう、今後も検討していきたい。

(明田委員)

私の子どもも来年度小学校に上がるので、ぜひ続けてほしい。本体はそこまで高額でなくても、ランニングコストはかかるものなので、将来的には補助を検討いただきたい。

(学校保健担当室長)

来年度も継続できるよう、取り組んでいきたい。

(阿部副会長)

子どもの命を守るためには、GPSを持たせるのは当然だと、私も賛成する。子ども自身が自分を守るためのものなのだと、親だけでなく子ども自身も理解のできる教育が必要だと思う。

(3) 市内運営法人による不適切な保育及び補助金等の不正受給について

資料5を用いて、担当課より説明を行った。

意見は特になし。

6 その他

(神谷委員)

子ども・子育て会議はオンライン開催が続いているが、国の政策も転換している。次回は対面開催を検討してもいいのではないか。一部オンライン参加は仕方ないとしても、対面に変えていただくよう要望する。

(寺田委員)

松戸の子ども全員が「愛されて育つ子ども」になってほしい。そうでなければならないと思う。今、全国的に児童虐待や不適切な保育の報道がありで保護者も心配されていると思う。幼稚園や保育所で子どもをお預かりしていると、私たち子どもに関わっている大人側が育てられていると感じられることも多い。

今、子育て支援というと、親から離れる支援が多いが、「子どもと一緒にいる幸せを感じられるような支援」や「親育て・大人育て」という支援にも、そろそろ本腰を入れて取り組むべき時が来たのではないか。保育や幼児教育の現場でも、皆様に色々教えていただきながら取り組みたい。

(阿部副会長)

皆さん前向きで、力をあわせて考えようという感じで、日本の子育て支援が進んでいると感じた。

社会で子どもを育てるという状況の中で、行政と地域が連携するという動きが全国的にみられる。そのためには、子どもを中心に考え、家庭も尊重する必要がある。きめ細かな支援を行うには、保護者への情報の与え方・わかりやすさ・身近に相談窓口があることだと思った。色んな状況に応じた切れ目のない支援や保障が、今後の課題である。

行政も地域も、力をあわせて前向きに進めることが重要で、そうした意味で今日は貴重な意見を聞くことができた。

7 閉会

(事務局)

本日の議題について、その他意見や要望等あれば、意見票又は任意の様式に記入の上、2月24日(金)までに、FAX、メール、郵便等にて事務局まで送付願いたい。

なお、次回の会議については7月頃の開催を予定している。

8 会議後提出意見

(久川委員)

GPSや給食費の補助などはとても画期的な政策だと思いますが、これらは親が喜ぶものであると感じます。

「子供が喜ぶ」という視点での施策がどの程度推し進められているのか、気になってい

ます。

そこで、子供が喜ぶにはどのような面に力を入れていくのが良いのか、考えてみました。色々と考えてみた結果、「保育・教育の現場の人手をもっともっと増やす」ということに至りました。

私は現在、市の会計年度職員で小学校のスタッフとして働かせて頂いておりますので、ここでの経験を交えて考えてみました。

子供が多く時間を過ごすのは、保育園や幼稚園、学校です。つまり、ここでの時間が充実したものであることは、子供の喜びに直結すると思います。

保育・教育の現場でも人手不足が叫ばれていますが、この現状では、虐待が起こったり、児童・生徒へのきめ細かな指導ができなかったりして、結果、子供の生活がおざなりになるでしょう。

現場は本当に忙しく、自分の子供の具合が少くらい悪くても休みが取りづらいですし、子供の実態が多様化していて対応に苦慮することも多いです。

中学校では、部活動指導の課題もあります。

共働き家庭の増加に伴い、家庭でしっかりと見てもらっていない子供が多いという実感もあります。

また、習い事や塾で日々忙しかったり、親からの高い要求に応え続けて常に疲れている子供も多くいます。

つまり、自己肯定感が低く心が満たされていないお子さんが散見されるのです。

心が満たされていない子供は、保育園や幼稚園、学校での落ち着きがない傾向があることはよく指摘されることですが、落ち着けないお子さんがクラスにいると先生が大変なだけでなく、周囲のお子さんへの悪影響も大きくなります。頑張っている子をすくい取れないし、授業の進度も遅くなりがちです。

人手が足りないと、落ち着けない子にも周囲の子にも目と手が行き届かなくなり、結局みんなの満足度が下がります。

親が親としての振る舞いを学び直す、というのはもちろん大切なのだと思いますが、実際はなかなか難しい…

現場の人手を増やすのが、全ての子供が利益を享受できる近道のような気がしています。

現在私は週4日の勤務で、算数の補助や、課題の印刷や採点、自習クラスの補強、書写の授業を担当に代わって受け持つなどしておりますが、学年に一人私のようなスタッフが配置されれば、教職員にも子供にもメリットがたくさん生まれると思います。

ただ、「週4～5」という条件を敬遠する人も多いようです。私のように出産を機に退職した人は、「自分の子供もきちんと見てあげたい」と考える傾向があり、せっかくの免許を生かしきれない。

こういった保有者は、週2～3という条件であればグンと復帰しやすくなります。そし

て、ひとたび復帰すれば、数年後にはフル勤務ができるようになるかもしれません。

予算の関係ですぐには実現しないと思いますが、とにかく現場に人手を増やす施策を
推し進めるのが必要な気がします。